

領域プロジェクト名称	携帯型測器を利用した温熱要素と人間健康の関係解析
担当教員	井原 智彦
プロジェクトの狙い	<p>地球温暖化やヒートアイランド現象による都市の高温化は、熱中症や疲労などを通じて、人間の健康に被害を与えています。これまで疫学研究により、気象台測定的气温と地域住民の健康の関係が分かってきました。</p> <p>しかし、実際に健康に影響を与えるのは、遠くの気象台での気温ではなく、身近な人体周辺の温熱要素（気温・湿度・放射・風速）です。人体周辺の温熱要素と人間健康の関係を把握しなければ、実態の対策に結びつきません。</p>
プロジェクトの内容	<p>本プロジェクトでは、携帯型の測器を開発・改良の上、それを用いて温熱要素や人間健康を計測することにより、人体周辺の温熱要素と人間健康の関係を解析します。</p> <p>関連情報</p> <ul style="list-style-type: none"> ● http://www.lct.k.u-tokyo.ac.jp/index.php?id=53 ● http://www.lct.k.u-tokyo.ac.jp/index.php?id=57
プロジェクト開催場所	<p>（柏キャンパス）新領域環境棟 4 階</p> <p>必要に応じて、（本郷キャンパス）工学部 4 号館を使用予定。</p>
プロジェクト計画	<ol style="list-style-type: none"> 1. 疫学研究でおこなわれてきた気候と人間健康の関係を学びます。また、温熱指標や温熱環境・人体生理計測手法などについて調べます。 2. 人体装着型あるいは携帯型の温熱要素・人体生理計測装置を開発あるいは改良し、実際の生活における人体周辺の温熱環境と人体生理を計測します。 3. 計測結果を解析することにより、人体周辺の温熱環境と人間健康との関係を整理します。 4. 以上の解析結果を、過去の疫学研究の結果と比較し、また、どのような具体的対策の提案につながるか、を考察します。
ホームページ	http://www.lct.k.u-tokyo.ac.jp